



canecreek.com
products@canecreek.com



355 Cane Creek Rd, Fletcher NC USA 28732
800-234-2725

eeBrake レギュラーマウントの取扱説明書

安全に関する情報 -

・危険: バイクのブレーキを不適切に扱うことで、操作不能や事故が発生し、重大な怪我を負う恐れがあります。安全な場所で乗り方やブレーキ方法を練習することで、ブレーキの操作や扱い方を学んでください。以下の指示を読み、従ってください。あとで参照できるように、この取扱説明書は保管しておいてください。

・ブレーキナットおよびボルトを指定トルク値で締め付けてください。指定トルク値を超えて締め付けると、ブレーキが故障する恐れがあります。

・指定されたグリスを用いて、部品の脱落、摩耗、腐食を防いでください。

・プラスチック製プッシュはドライコンディションでの使用を想定しています。軽めの番手の潤滑油を用いるとスムーズな動作が得られ、ウェットコンディションでの使用に推奨されます。

・ブレーキ取付ボルトおよびナットは、ブレーキをバイクに取り付ける際、ねじ山の噛み合いを最低5回転分確保できる長さでなければなりません。ねじ山の噛み合いが不十分であると、ブレーキの故障、事故、重大な怪我が生じる恐れがあります。

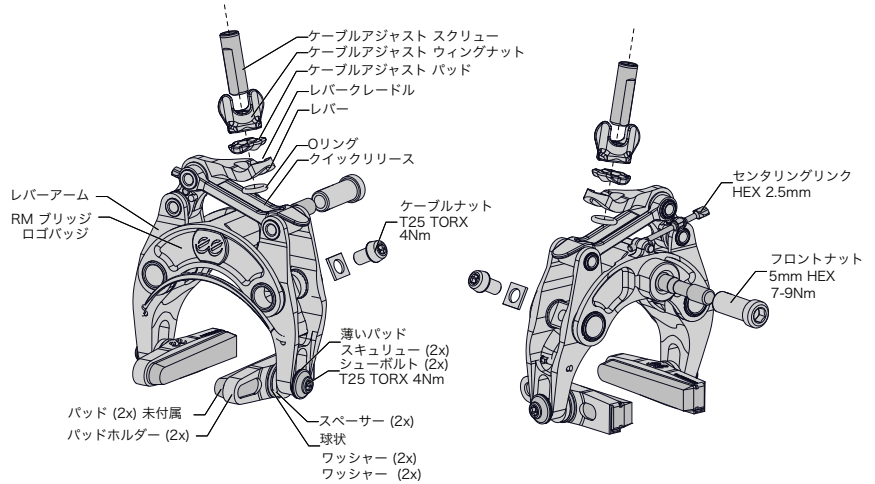
・走行前にブレーキを必ず点検し、クイックリリースが閉じていることを確認してください。

・定期的にブレーキを点検し、正常な作動状態にあり、ボルトが正しく締め付けられ、ケーブルに錆やほつれがないことを確認してください。

・異常を発見したら、ケーブルを直ちに交換してください。パッドを含むブレーキが緩んだ、摩耗した、または損傷した状態での走行は、絶対におやめください。それらの状態で走行を続けると、事故や重大な怪我が生じる恐れがあります。

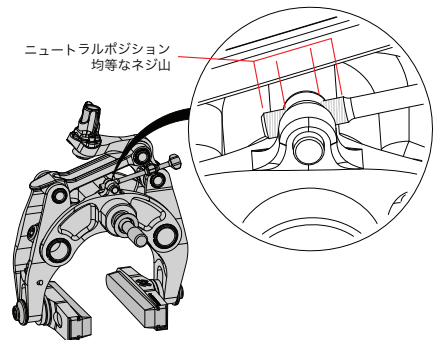
・オイルやグリスがブレーキパッドに付着しないようにしてください。付着すると、事故や重大な怪我が生じる恐れがあります。

・ウェットコンディションではタイヤのトラクションが低下し、制動距離が伸びるため、注意して走行してください。普段より遅めの速度で走行し、ブレーキを優しく掛け、長めの制動距離に備えてください。



1) 取付 eeBrakeをフォークまたはフレームに取り付けます。

1. ボルトのねじ山にグリスを塗布してから、フレーム/フォークに薄いスチールワッシャーを挟んでブレーキを取り付けます。
2. 5mmの六角レンチで取付ナットを取付ボルトに固定します。ナットが少なくとも5回転分、ボルトのねじ山と噛み合うことを確かめてください。
3. センタリングリンクをニュートラルポジションにセットした状態で、ブレーキをホイールのほぼ中心にセットし、ナットを7-9 Nmで締め付けます(センタリングリンクがニュートラルポジションにあると、センタリングリンクのナットスイベル両側に、同等の長さのねじ山が見えるはずですが、詳しくは右図をご覧ください)。センタリングリンクは、パッドのセンター出しを微調整する際に用います。おおよそのセンター出しは、メインボルトを基準にブレーキを回すことで行えます。



2) ケーブルハウジングとケーブルの取付

ケーブルとハウジングを適切な長さで測定し、カットします。低摩擦コーティングケーブルを使用する場合は、取付前に、ブレーキと接するケーブルの表面から低摩擦コーティングを剥がしてください。

ケーブルハウジングの長さに関するアドバイス: ハウジングは、ブレーキの作動に影響を及ぼさないよう、十分に長くなくてはなりません (eeBrakeが作動すると、ケーブルハウジングがバイクに向かって移動します)。ハウジングが短すぎると、ブレーキを掛けた際にブレーキ側に引っ張られる、またはブレーキレバーから手を離れた時にブレーキが完全に開かない場合があります。このハウジングの配置や長さは、ケーブルアジャスターがレバークレドールに自然に収まるようにするためのものです。配置や長さが不適切であると、レバー内のケーブルアジャスターに負荷が掛かり、スムーズなブレーキ動作が妨げられることがあります。

注意: 他のブレーキからeeBrakeに交換する場合、この適正長は変化します。目安として、この長さはそれまでのハウジングより6-8mm長くなる場合が多いです。ブレーキケーブルを四角いケーブルプレートとボルトの下にある溝に通します。ブレーキアーム / パッドをリムに押さえつけながら、ケーブルボルトを4 Nmのトルクで締め付けます。

3) リム上でのブレーキパッドのセンター出し

パッドとリムとの間隔が左右均等となるように、センタリングリンクの小さなハンドルを用いて回します (指または2.5mmの六角レンチを使用すること)。センタリングリンクを交互に調整し、ブレーキレバーを強く握ることで、センター出しを適切に行えます。センター出しの調整には、ブレーキレバーを操作して、ブレーキのセンターを目視確認する必要があります。

センタリングリンクは、パッドのセンター出しを微調整する際に用います。大まかなセンター出しは、ブレーキ全体を回してください。

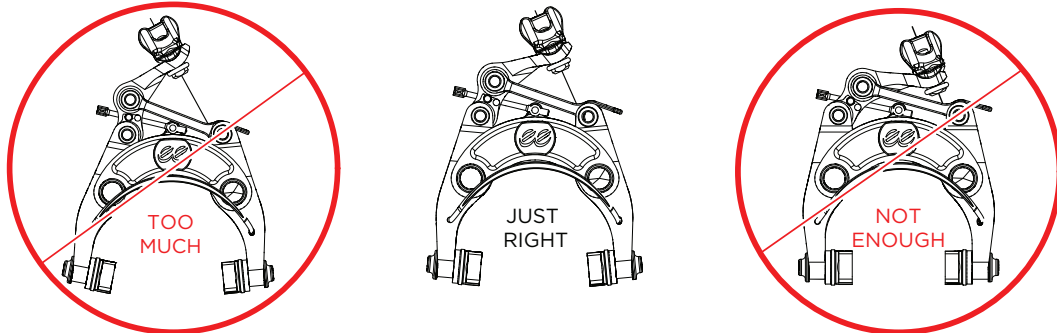
詳しくは「取付」- 手順1をご覧ください。

4) リム幅の設定

- ・eeBrakeは19 - 28mm幅のリムに最適化されています。
- ・eeBrakeは、24mm +/- 幅に初期設定されています(出荷時にスペーサーを片側1つずつ装着)。
- ・他のリム幅には、スペーサーワッシャーの加減で合わせる必要があります。
- ・パッドの摩耗はリム幅の設定に影響を及ぼします。パッドが摩耗するにつれ、スペーサーを追加しなくてはならない場合があります。
- ・球形ワッシャーは全ての設定に使用しなくてはなりません。
- ・スペーサーの設定と固定したケーブル位置により、レバーがクイックリリースに触れることなく、レバーの全動作範囲が保たれていることを確認してください。レバーの全動作範囲が保たれる静止位置でのレバー角度は、図をご覧ください。

一般的なスペーサーの設定

19-22mm幅のリムは、片側にスペーサーを2つずつ使用
23-25mm幅のリムは、片側にスペーサーを1つずつ使用
26-28mm幅のリムは、スペーサーを使用しない



5) シューの調整

eeBrakeのパッドホルダーは、「トーン」や「キャンバー」にセッティングできます。パッドホルダーをやや緩めた状態で、パッドがリムと正しく接触するよう、ブレーキトラックの中心にセットします。この作業は、ブレーキレバーを強く握り、パッドをリムの正しい位置で固定すると簡単です。次に、パッドホルダーのボルトを4 Nmのトルクで締め付けて、パッドホルダーをアームに固定します。

6) パッド間隔の調整

パッドの間隔は、ケーブル調整用ウイングナットを回すことで調整できます。戻り止めの調整は半回転ずつ行うことができ、ウイングナットは常に前後を向きます。左右のパッドをリムから1.5 - 2mmの位置にセットします。調整用ボルトと調整用パッドの接触部にグリスまたはオイルを薄く塗布します。

7) クイックリリース

クイックリリースは、パッドを片方の手でリムに強く押し付け、クイックリリースレバーを反対側の手で持ち上げてブレーキを開くことで操作します。これにより、クイックリリースアームがリムから離れる方向へ回り、ホイールの着脱や交換が簡単になります。クイックリリースは、パッドをリムに押し付け、クイックリリースレバーを下ろし、左側のブレーキアーム上部と噛み合わせることで走行状態にセットできます。クイックリリースが開いた状態では、ブレーキが機能しないことに注意してください。クイックリリースの操作には注意を払い、走行前に必ず走行状態にあることを確認してください。

パッドの取付

SHIMANO式パッドのみをお使いください!

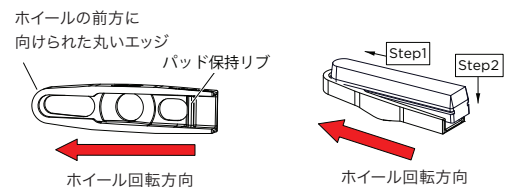
パッドはぴったりとフィットしなければなりません。緩くフィットするパッドを使用すると、走行中に脱落してブレーキが効かなくなるため、使用しないでください。eeBrakeは、隆起した台座がパッドをパッドホルダー内で保持する、特許取得済みの工具不要のデザインを採用します。

パッドのヒールをパッドホルダー底部の上で持ち上げて隆起した台座を避けながら、パッドをパッドホルダー後部から前部に向かってスライドさせて取り付けます。

パッドをパッドホルダー前端までスライドさせたら、パッドを強く押し付け、パッドホルダー底部に完全にはめます。

パッドホルダーの開口部は、バイクの後部を向いていなければなりません。
不適切に取り付けると、パッドがパッドホルダーから外れてしまいます!

パッドの取り外し - パッドのヒールが隆起した台座を避けるまで持ち上げて、パッドをパッドホルダーから取り外します。
次に、パッドをパッドホルダー後部に向かってスライドさせて取り外します。



取付または調整が完了したら、ブレーキレバーを10回強く握り、ブレーキを点検してください。

パッドの間隔とボルトの締め付け具合を再点検してください。

不適切な取付により、重大な怪我や死亡が生じる恐れがあります。